

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（12月定例会）会議録
開催日時	令和元年12月27日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	保谷庁舎2階 第1会議室
出席者	委員：攝賀議長、長谷川副議長、北村委員、木下委員、河野委員、小松委員、菅野委員、高橋委員、星出委員 事務局：和田教育部主幹、掛谷社会教育課長、江藤課長補佐兼社会教育係長、青木主事
議題	<u>報告事項</u> （1）東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第4ブロック研修会 （2）学校施設開放運営協議会研修会「西東京市子ども条例について」 （3）第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会（ウエスタ川越） （4）東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会 ・社会教育委員研修会 <u>議 事</u> （1）「地域学校協働活動」について ①放課後子供教室（けやき小・住吉小）の視察について ②「地域学校協働活動」の研修会について （2）提言までの今後の進め方について ①ワーキンググループ発足について ②他市の「地域学校協働活動」の視察について （3）その他
配布資料	資料 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・研修会抜粋資料 「第4ブロック研修会実施報告」 資料 ワーキング・グループメンバー表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

- 中央図書館・田無公民館における耐震改修について、図書館長より説明。
- 令和元年9月の会議録について、承認する。

報告事項

- 議長：10月から12月にかけて、社会教育に関する研修会等が多く開催された。委員の皆様から簡単にご報告をお願いしたい。

(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第4ブロック研修会

- 副議長：講演の中で、現在教育の現場では「メンチメータ※」というアプリを使用しているとの話があり、びっくりした。
生の声を聞くということも大切なのではないかと感じた。
※スマートフォン等を使用して感想や意見をその場で共有できるもの。

(2) 学校施設開放運営協議会研修会「西東京市子ども条例について」

- 委員：西東京市子ども条例制定までの流れと制定されてから1年が経っての現況を知ることができた。
相談室はできたが、実際に活用されていくのかということについて、大人が責任をもって広めていく必要があるようにも感じた。
- 委員：実際に条例の作成にも携わったが、現状は相談件数も少なくはないと聞いている。（解決事例もある）
ただし、カードなどに電話番号を記載するなど、さらに広めていく工夫は必要であると感じている。

(3) 第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会(ウエスタ川越)

- 委員：分科会ではすべての小・中学校でコミュニティ・スクールが設置されている他市の話を知ることができた。ただ必ずしも順調なわけではなく、取組みの一環としての放課後子供教室については学校間格差が生じている状況。
学校の協力や熱意ある人財の発掘など、他市も同様の課題を抱えていることがわかった。

(4) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会

- 委員：来賓の挨拶の中で、「地域で引っ張る人財を育成してほしい」との話が特に印象に残っている。
また、他市のブロック研修会の事例報告では、「社会教育は社会的に弱い立場にいる人たちのためにあるのではないか」ということを基点に市民公募による演劇を行っているところがあると聞いて、感銘を受けた。

- 議 長：来年度も同様の時期に研修会等が開催されると思う。
積極的に参加いただき、より議論を深めていきたいと思う。

議 事

(1) 「地域学校協働活動」について

①放課後子供教室(けやき小・住吉小)の視察について

- 事務局：10月16日（水）に地域学校協働活動の取組みの一環でもある放課後子供教室の視察（けやき小・住吉小）を行った。（参加委員：7名）
今回参加できなかった委員の皆様も含め、今後も現場を視察し、さらに議論を深めていければと思う。
- 議 長：今回初めて現場を視察された方もいると思う。
改めて何か質問や意見等あれば伺いたい。
- 委 員：放課後サポーターと子どもが用具の貸出しや参加の受付をしている際に、楽しそうに会話をしている姿が印象的であった。

②「地域学校協働活動」の研修会について

- 事務局：12月19日（木）に東京都教育庁の方を講師に迎え、「地域学校協働活動」についての研修会を行った。（計21名参加）
地域学校協働活動の必要性から、他市の具体的事例も含めて説明をいただいた。
西東京市で今後どのように進めていくか理解を深めるきっかけになればと思う。
- 議 長：研修会に参加された皆様から何か意見はあるか。
- 委 員：学校がボランティアを含め、地域にひらかれた体制を整備していくということを知り、学校を取り巻く環境は、今までのイメージと変わってきていると感じた。
- 副議長：「地域学校協働活動」の推進にあたってモデル校を作って展開していくということも考えられると思うが、全校で内容が同じではなくとも、一斉にできることから始めていく方がよいのではないかと感じた。

- 議長：講師の方からもモデル校から展開していくケースは苦戦すると聞いた。西東京市としてどのように推進していくべきか、今後皆様と検討していきたいと思う。
- 委員：学校施設開放運営協議会（運協）があるため、そこを基盤として考えていくと一斉に進めていくこともできるのではないかと考える。
- 委員：実際に地域人財の発掘に苦戦しているという話も聞いている。
- 議長：推進にあたって課題もでてくると思うが、具体的な解決策については、今後の議論で深めていきたいと思う。

(2) 提言までの今後の進め方について

①ワーキンググループ発足について

- 議長：今後提案をまとめていくにあたって、ワーキンググループを発足させていく必要があると考えるが、事務局として何か意見はあるか。
- 事務局：あくまで案ではあるが、限られたスケジュールの中で提言をまとめていくとなると、資料のようにグループ分けをした方がよいのではないかと考える。
- 議長：事務局から提案があったが、委員の皆様から何かあるか。
- 委員：過去の西東京市社会教育委員の会議の提言を読んだが、かなり分量が多い印象である。
定例会での内容を踏まえて起草委員会等で文章化し、その内容を定例会ですらに検討していくやり方がよいのではないかと考える。
- 委員：提言の具体的な柱を定例会で決めることができれば、資料収集などは分担してスムーズに進めていくことができると思う。
- 委員：今日の定例会の中でも地域学校協働活動について、様々な意見があると感じた。やはり、定例会の中で議論を重ねていく必要があると思う。
- 議長：前回の提言作成を踏まえて、議論を重ねることの重要性は改めて感じた。議論を深め、提言の柱が決まったうえで、具体的な分担等は考えていきたいと思う。

②他市の「地域学校協働活動」の視察について

- 議 長：事務局から何か意見はあるか。
- 事務局：今後議論を進めていく中で、先日の社会教育委員の研修会資料でもあった他市の事例を踏まえて参考にすべき市があった場合は、視察等調整を行っていきたいと思う。
- 議 長：改めて資料等を読み込んで、視察したい自治体があれば、事務局へ連絡をお願いしたい。

(3) その他

※次回会議 令和2年1月24日（金）午後3時から